

自考力

自主的に問題を発見し、分析し、提言する力



自考力入試はじまる。

立教大学社会学部では、2020年度入試（2019年秋季実施）より「自考力入試」（じこうりょくにゅうし）をスタートします。「自考力入試」は、自由選抜入試としておこなわれ、これまでの一般入試では測れない、自主的に問題を発見し、分析し、提言する力＝「自考力」を、①書類選考、②小論文試験、③自由研究口頭発表を含む面接、によって判断する入試です。

第1次選考 書類選考

- 調査書
- 志望理由書

● 自由研究

（A4判・2ページ分（A3判・1ページ分）のスペースを）
自由に利用して、研究についての説明を提示する

*「自由研究」テーマ

社会学科：現代の社会に関するテーマ

現代文化学科：現代の社会と文化に関するテーマ

メディア社会学科：現代の社会とメディアに関するテーマ

第2次選考 筆記試験と面接試験

● 小論文試験

（独創性、論理的思考力、知的柔軟性、
表現力を評価する筆記試験）

● 自由研究の 口頭発表

（提出した自由研究について具体的に）
口頭で説明・発表する



立教大学 社会学部

立教大学社会学部 自考力入試のご案内

実施日程 2019年	出願期間 9月26日(木)～10月2日(水)	第1次選考(書類選考)合格発表日 10月28日(月)	第2次選考日 11月16日(土)	第2次選考 合格発表日 12月2日(月)
---------------	---------------------------	-------------------------------	---------------------	-------------------------

選考方法

「自考力入試」は、第1次選考(書類選考)、第2次選考(筆記試験(小論文)および面接試験)の2段階からなります。

第1次選考

調査書、志望理由書とともに自由研究の成果物により評価します。

※書類選考においては、提出された書類にもとづき総合的に評価します。特に自由研究の成果を重視します。

「自由研究」は、現代社会に関する研究テーマを、皆さん自らが着想し、調査・研究して、考察、分析したことを、A4判・2ページ分(A3判・1ページ分)の用紙のみを用いて、「タイトル」「研究の背景・目的・方法」「研究の結果と考察」の要素を含む形で工夫してまとめてください。提出する用紙の色、質などは自由で、文章は手書きでも印刷でもよく、図表、グラフ、写真なども入れることができます。ただし、**音声、音楽、動画などを収録したメディアを付けることはできません。**

*「自由研究」テーマ

自由研究のテーマは、志望学科別に次のとおりです。

社会学科：現代の社会に関するテーマ

現代文化学科：現代の社会と文化に関するテーマ

メディア社会学科：現代の社会とメディアに関するテーマ

以上の出願書類をもとに書類選考を行い、第1次選考合格者には、筆記試験(小論文)・面接試験となる第2次選考を受けてもらいます。

第2次選考

「筆記試験(小論文)」と「面接試験(自由研究の口頭発表)」を行います。

① 小論文試験

志望学科にかかわらず、社会、文化、メディアについてのテーマ3題から1題選択し、キーワードを使用して解答します。

【問題例】

次の3つのテーマから1つを選び、そのテーマについてキーワード欄のすべての用語を1度以上使い、あなたの考えを述べてください。

〈テーマ〉 ※選択したテーマに○印をつけてください。

- A. 高齢化が進む社会を活性化するために一番必要な施策は?
- B. グローバル化がいわれる中で、自分の住む街を世界にPRする方策は?
- C. SNS上で匿名で悪口をいうことが問題となっています。その是正策は?

〈キーワード〉 ※本文中で1度以上使い、使用の際は下線を付すこと。

構造、共生、都市、ラーメン、温泉、茶、メディア

〈記述欄〉 800字程度

〈試験時間〉 90分

小論文は、独創性、論理的思考力、知的柔軟性、表現力にもとづき評価します。

② 面接試験(口頭発表)

事前に提出された自由研究成果物を用いて、志願者本人による口頭発表をおこないます(口頭発表5分、質疑応答10分、追加資料は認めません)。研究目的を明示した上で、自分独自の意見として、何を主張したいのか、明確に結論部で表現してください。他の本などに書いてあることを正解として発表するのではなく、自分自身の意見を明確に発表してください。

入試に関するQ&A

- Q：自由研究は、現代の日本社会に関するものでなければなりませんか。
- A：場所が日本のみのテーマである必要はありませんが、現代にはかかわるものとしてください。
- Q：自由研究に補足資料を添付して一緒に送ってもよいですか。
- A：自由研究についての別途資料添付は一切受け付けません。A4判・2ページ分(A3判・1ページ分)で研究についてまとめて提出してください。
- Q：提出した自由研究は、同じものを第2次選考に持参する必要がありますか。
- A：あります。必ず自分の分を持参してください。
- Q：面接の口頭発表においてパソコンやスマートフォン、提示装置(プロジェクター、ディスプレイなど)を使うことはできますか。
- A：できません。A4判・2ページ分(A3判・1ページ分)の紙をもとに、口頭で説明、発表してください。
- Q：口頭発表の持ち時間と質疑応答の時間はどのくらいですか?
- A：口頭発表5分、質疑応答10分を予定しています。
- Q：自由研究は、この試験のために、自分一人で独自におこなったものでなければなりませんか?
- A：自由研究は、過去に別の課題としておこなった研究の応用等でもかまいません。また、部活・学園祭などでの共同成果や、ボランティア・留学経験などにもとづいて自由研究を作成することもできますが、そこから必ず自分自身の意見・考えをまとめ、表現してください。言い換えれば、「発見」は他者との共同作業によるものでもかまいませんが、「分析」「提言」は、必ずあなた自身がひとりでおこない、自分で文章を書いてください。

【求める人材】

「発見」「分析」「提言」能力の涵養という社会学部の教育目的を、先進的、高度に達成することができる可能性をもった人材を広く募集します。

【出願書類】

●入学志願票/志望理由書/調査書/証明書類の原本(英語資格・検定試験の証明書を含む)

●自由研究(A4判・2ページ分またはA3判・1ページ分)

【募集人員】

社会学科5名程度/現代文化学科5名程度
メディア社会学科5名程度

出願資格等は、QRコードまたはWebサイトで確認いただけます。出願時は必ず入試要項をご確認ください。

立教大学 自由選抜 検索



社会学部で実施する入試一覧

- 「一般入試」「大学入試センター試験利用入試」
- 「自由選抜入試(自考力入試)」
- 「国際コース選抜入試」「アスリート選抜入試」
- 「外国人留学生入試(書類選考による募集制度)」